

# 住民が意見を出せる最後のチャンス！

専門家が  
問題点を  
指摘します

## 環境アセス準備書を 勉強しませんか？

5月17日(火) 夕方6時から8時半まで

西之表市民会館大ホール

環境アセス専門家 櫻井國俊 沖縄大学名誉教授(zoom 参加)

航空機騒音専門家 朝井志歩 愛媛大学准教授(zoom 参加)

マゲシカ専門家 立澤史郎 北海道大学助教授(zoom 参加)

※ 会場に来れない方は zoom で視聴ができます。

日時: 2022年5月17日 (zoomの入室は17:15から可能です)

ミーティング ID: 850 4256 8112 パスコード: 956097

防衛省は、八板市長や塩田知事が求めていた硫黄島などの騒音事例を参考にすることや種子島上空の飛行予測を行うことなどを拒否し、「影響なし」との調査結果を書き込んだ「準備書」を作成。6月2日までに国民の意見を求めています。

しかも、政府・防衛省は、住民の不安を顧みることなく、今年度中に環境アセスを終わらせて基地本体工事に着工する意向まで示しています。

今回の「準備書」への意見提出は、私たち住民が基地計画に直接意見を出せる最後のチャンスです。

問題点を知り、1件でも多くの反対意見を提出することが、今求められています。そのための学習会です。ぜひご参加ください。

主催：馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会

担当：迫川 090/7987/3066, [hsakogawa5@opal.plala.or.jp](mailto:hsakogawa5@opal.plala.or.jp)

